

# NAZCA

ナスカ

ACT 7



作 SATOTOMO

# MAZCA

ナスカ

ACT 7





明るくなつて  
ロックが動き  
始めたんだ

あいつらは  
朝の時間帯に  
エサを求めて  
狩をするんだ

ロックは  
賢い生き物だ

おそらく  
黒タンク周辺で  
待ち伏せてくる  
んじやないか？

撤退する  
人の流れに  
感づいたか

黒タンク側の  
受け入れ体勢は  
大丈夫なのよね！

かなりの数が  
いるみたい  
だけど・・・

しかしこれでは  
黒タンクの居場所が  
遠くからでも  
丸判りだな

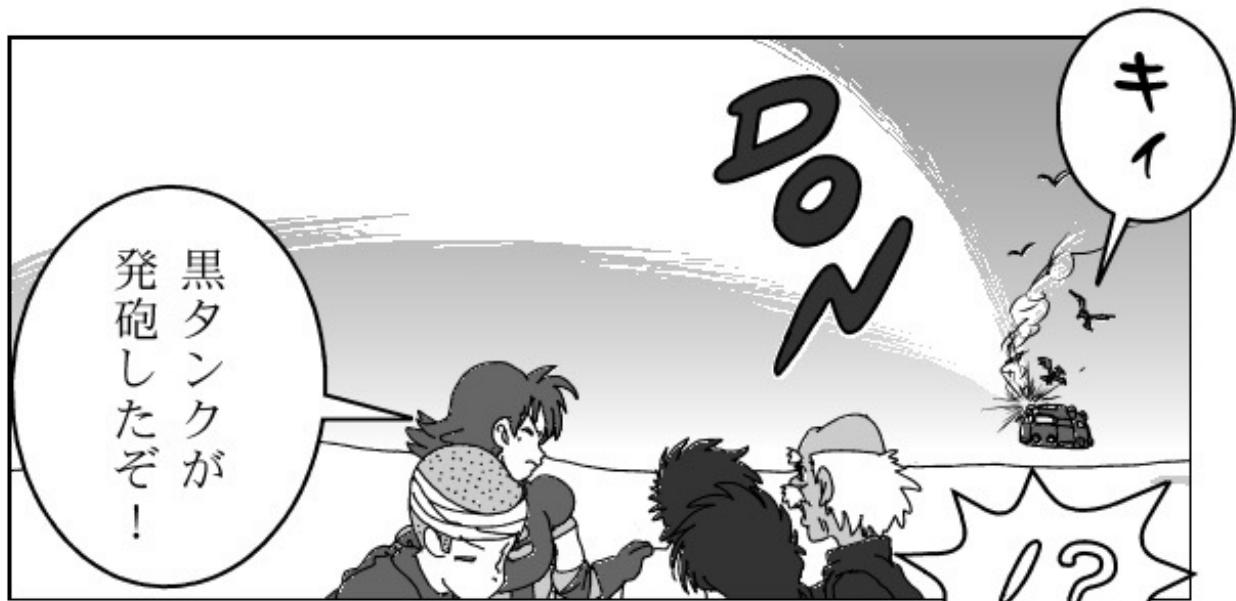
ロツクには  
砲台の死角が  
判つているんだ

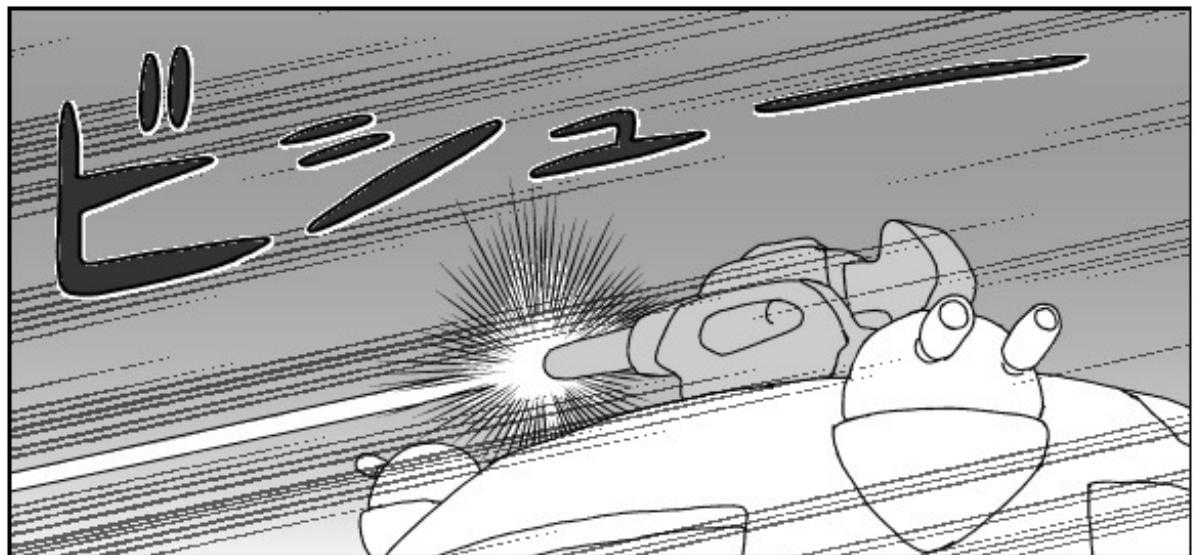
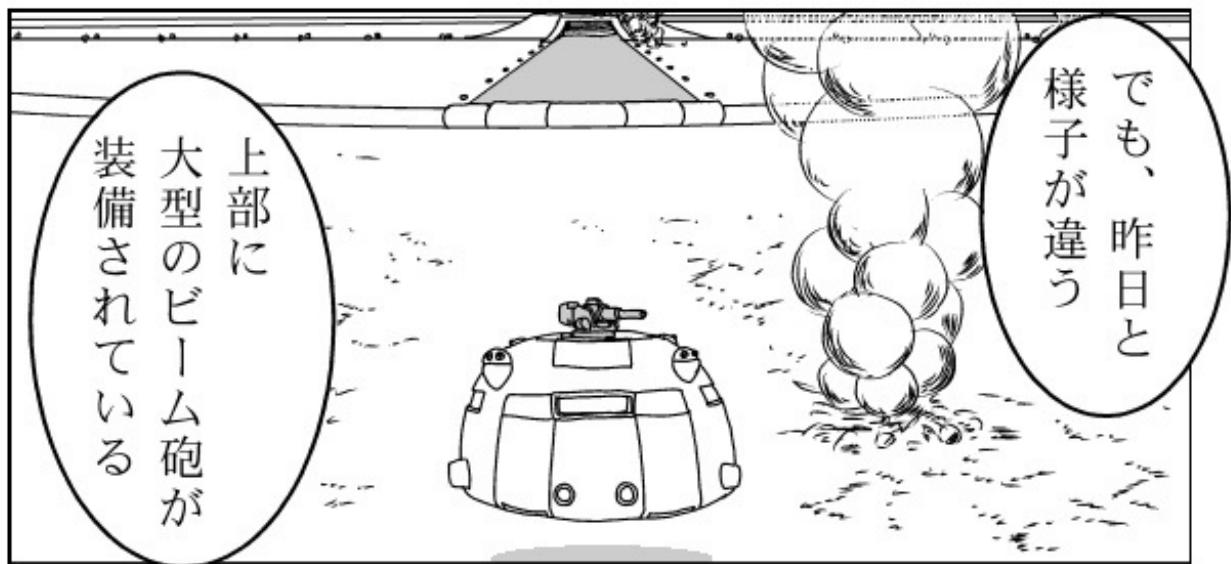
見えたぞ  
黒タンク

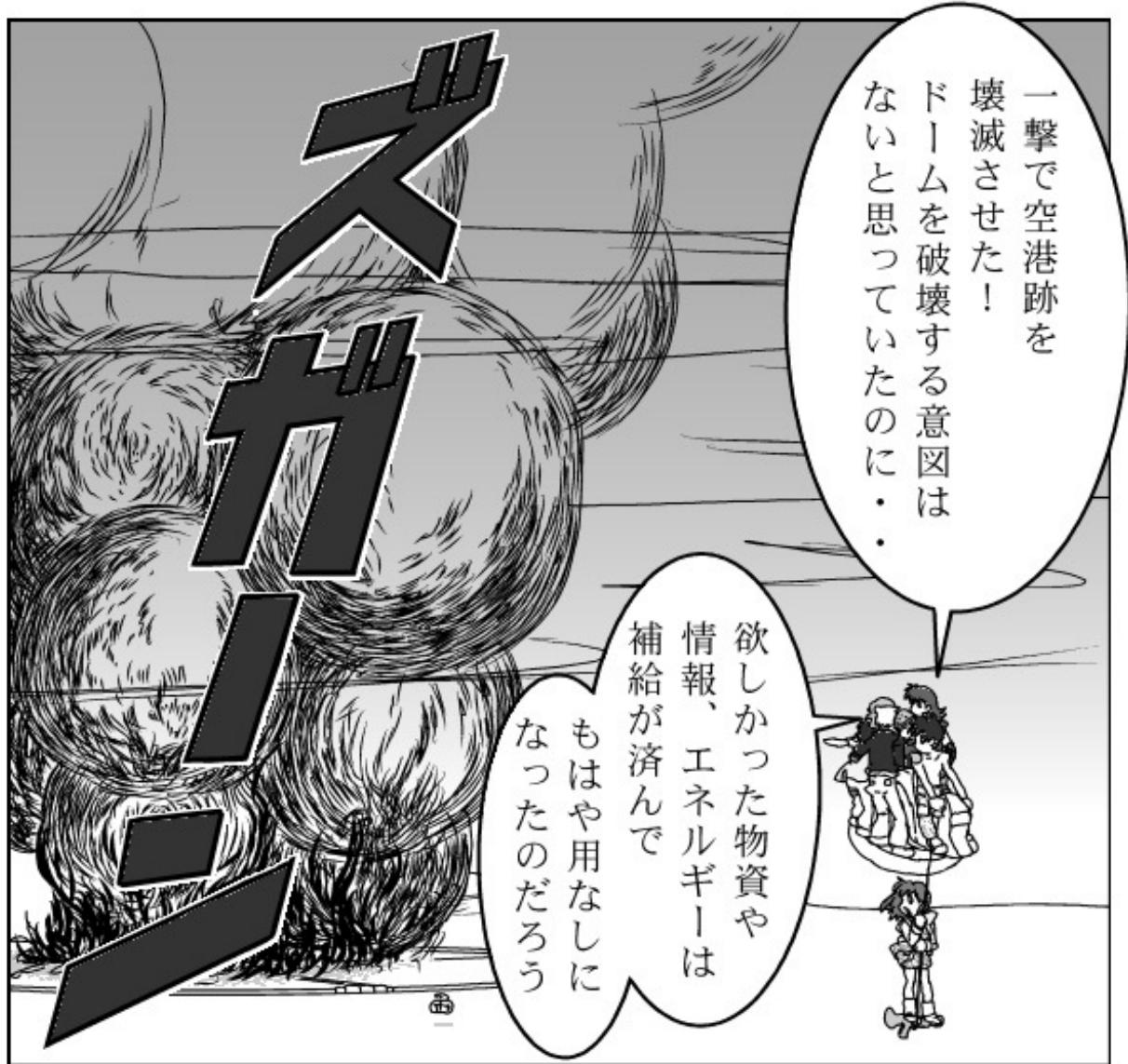
キム爺さんの  
予想した通りだ  
タンクの真上に  
すごい数だ

格好の餌食に  
なつてしまふ

白タンクの方が  
物資やエネルギーの  
積込みが済めば  
反撃に出てくるだろう







ドーム破壊完了！  
引き続き  
黒タンク攻撃準備！

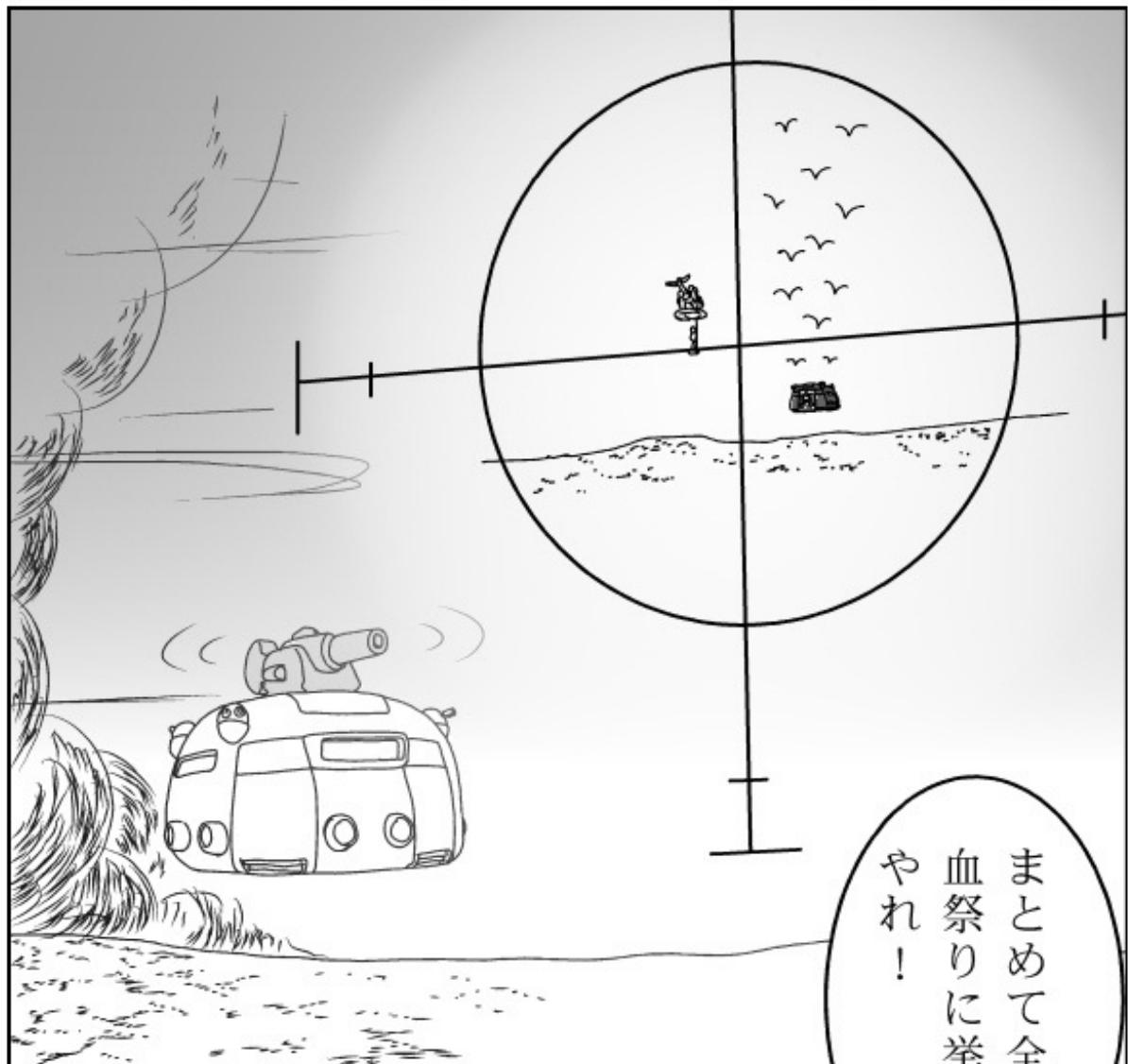
大型砲台に  
第2弾、  
エネルギー装填

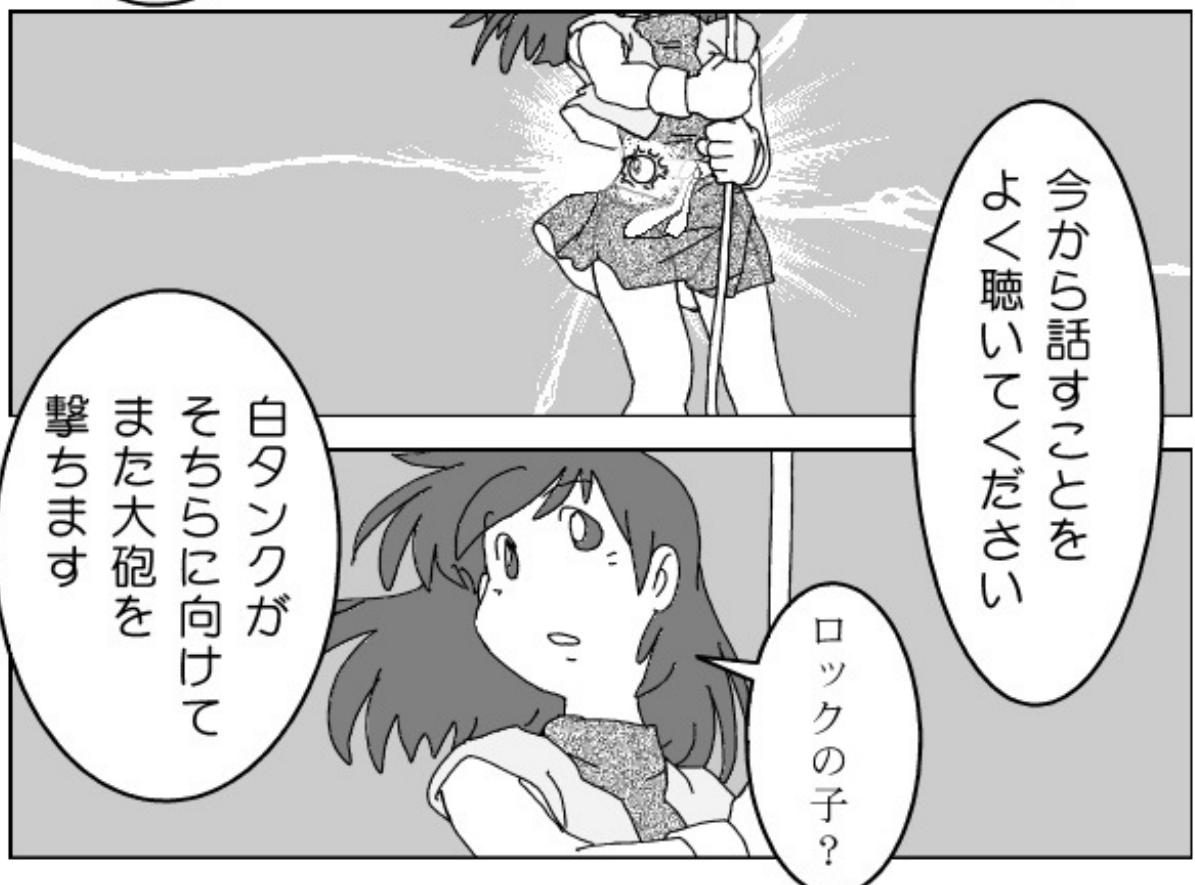
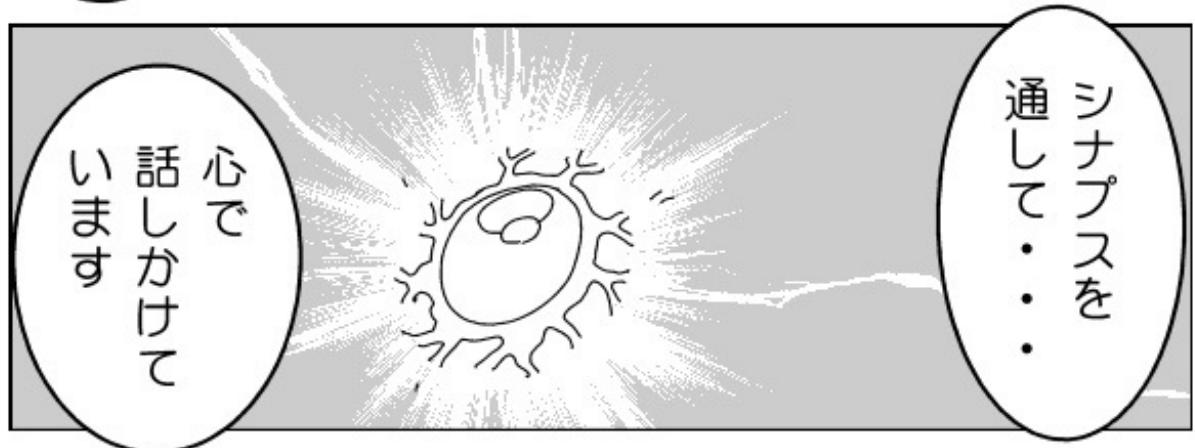
燃料を満タンにできて  
久しぶりに大型砲台を  
動かしてみたが・・

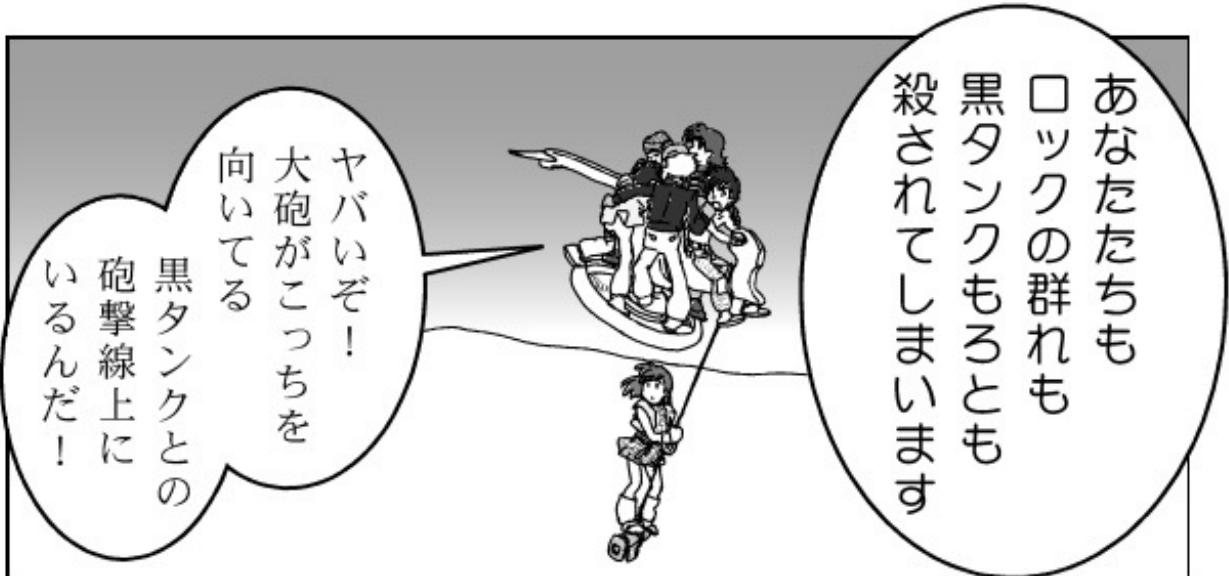
兵装の調子は  
よさそうだ

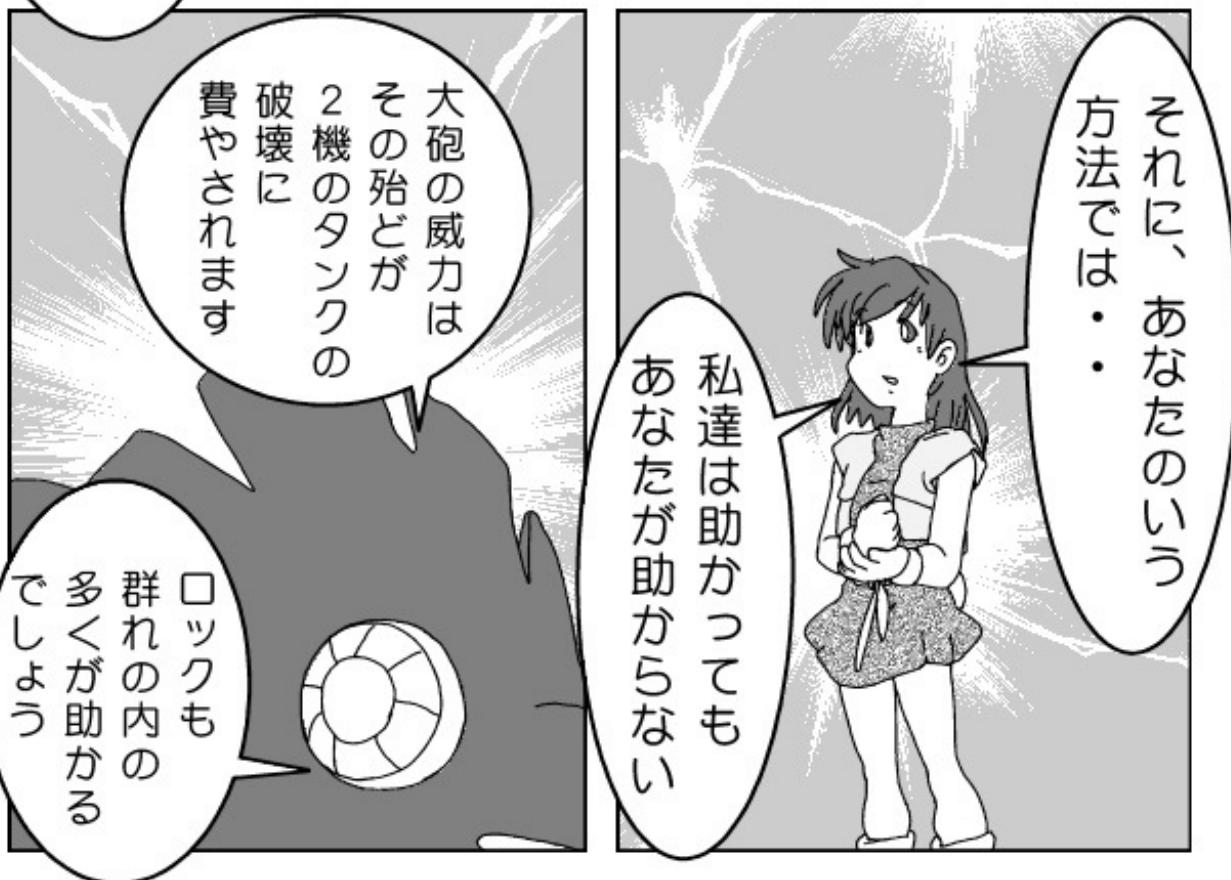
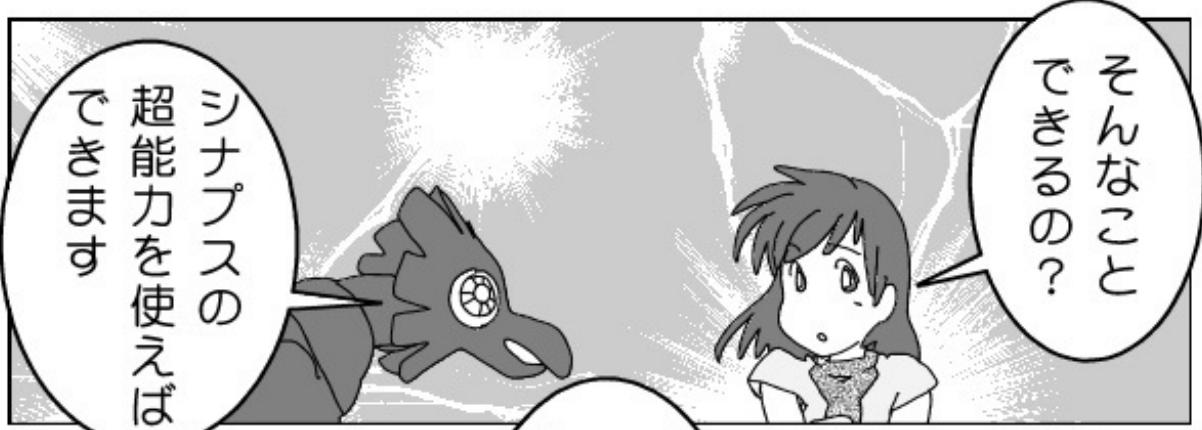
砲の威力が  
標的以外の物に  
分散してしまうが

黒タンク周辺と  
ビーム線上に  
ロックの群れや  
ホバーがいますが









これは  
種としての  
ロツクルフの存続

即ち  
我らシナプスの  
拠り所を守り  
繁栄させていく  
ことに繋がります

また、  
大量殺戮を為す  
人間どもに一矢酬いる  
チヤンスでも  
あります

個としての  
私の生き死には  
小さなことです

他にもつとい  
い  
方法はないの？

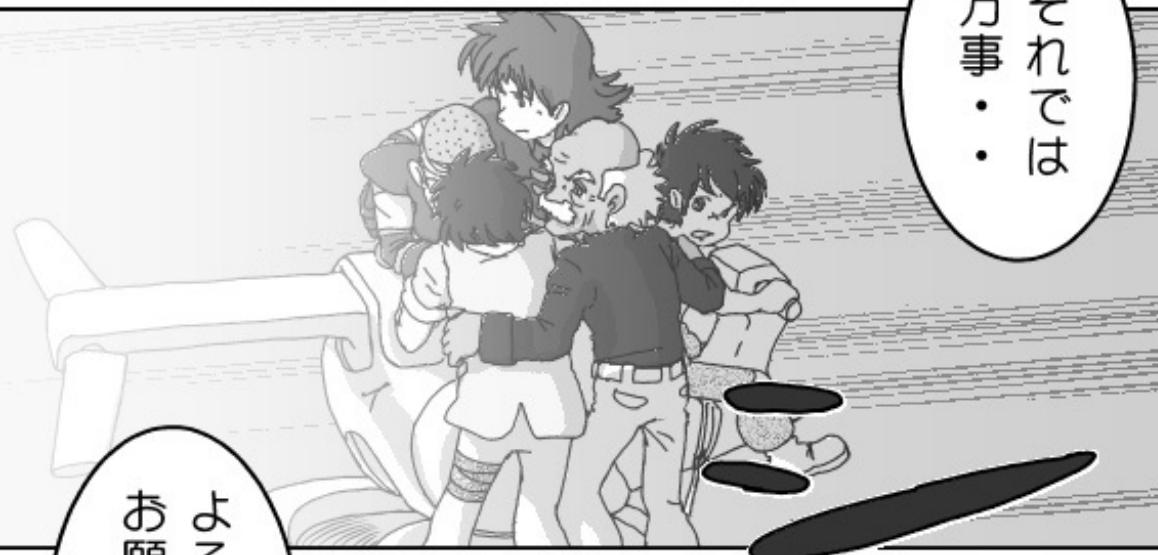
大丈夫、私も  
安々と死ぬつもりは  
ありませんよ

あつと・・・  
発射の刻が  
来た様ですね

バ"シユー



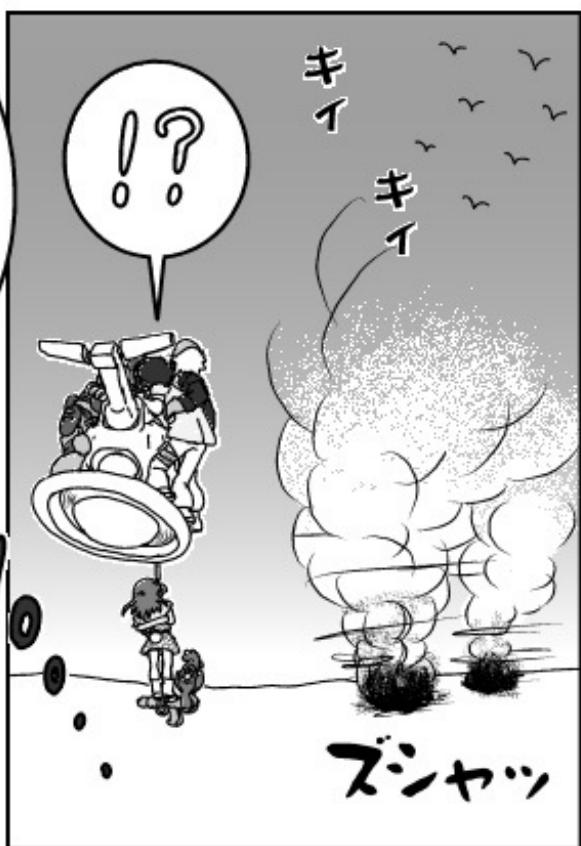
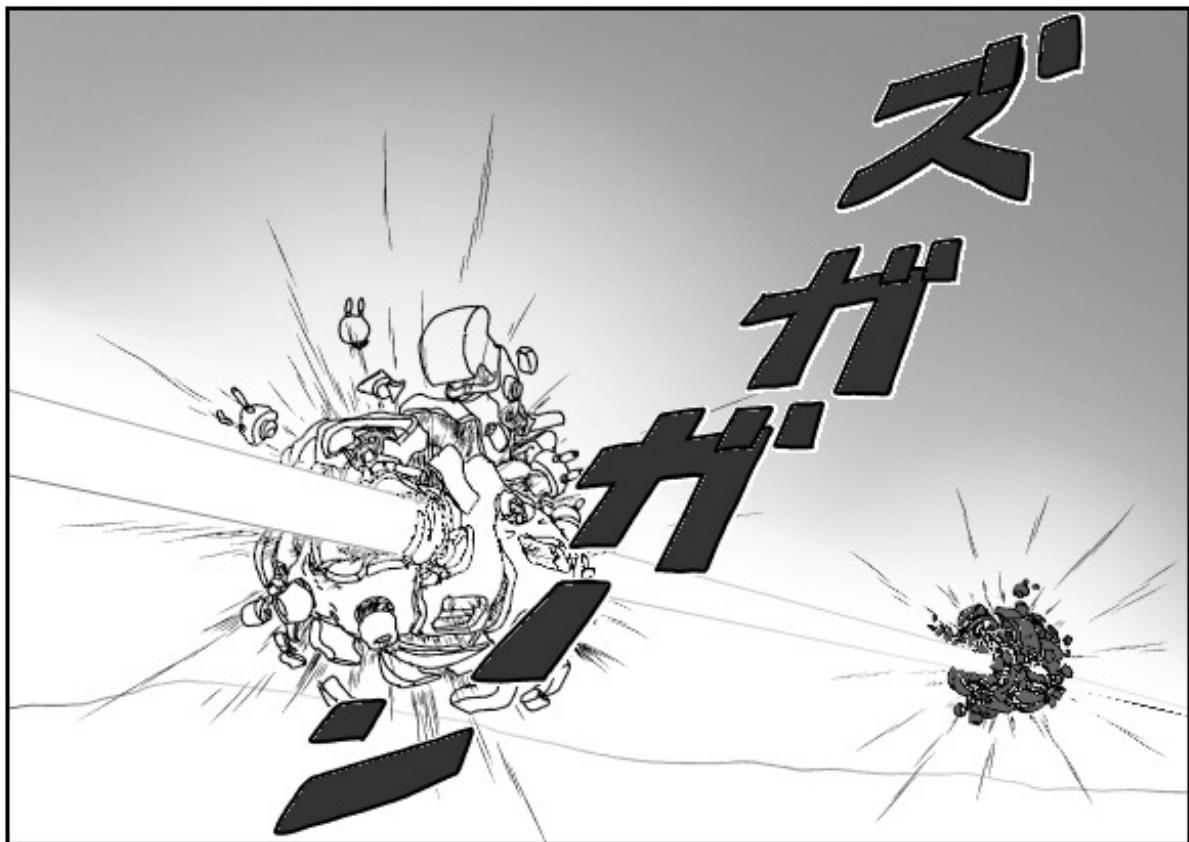
それでは  
万事・・

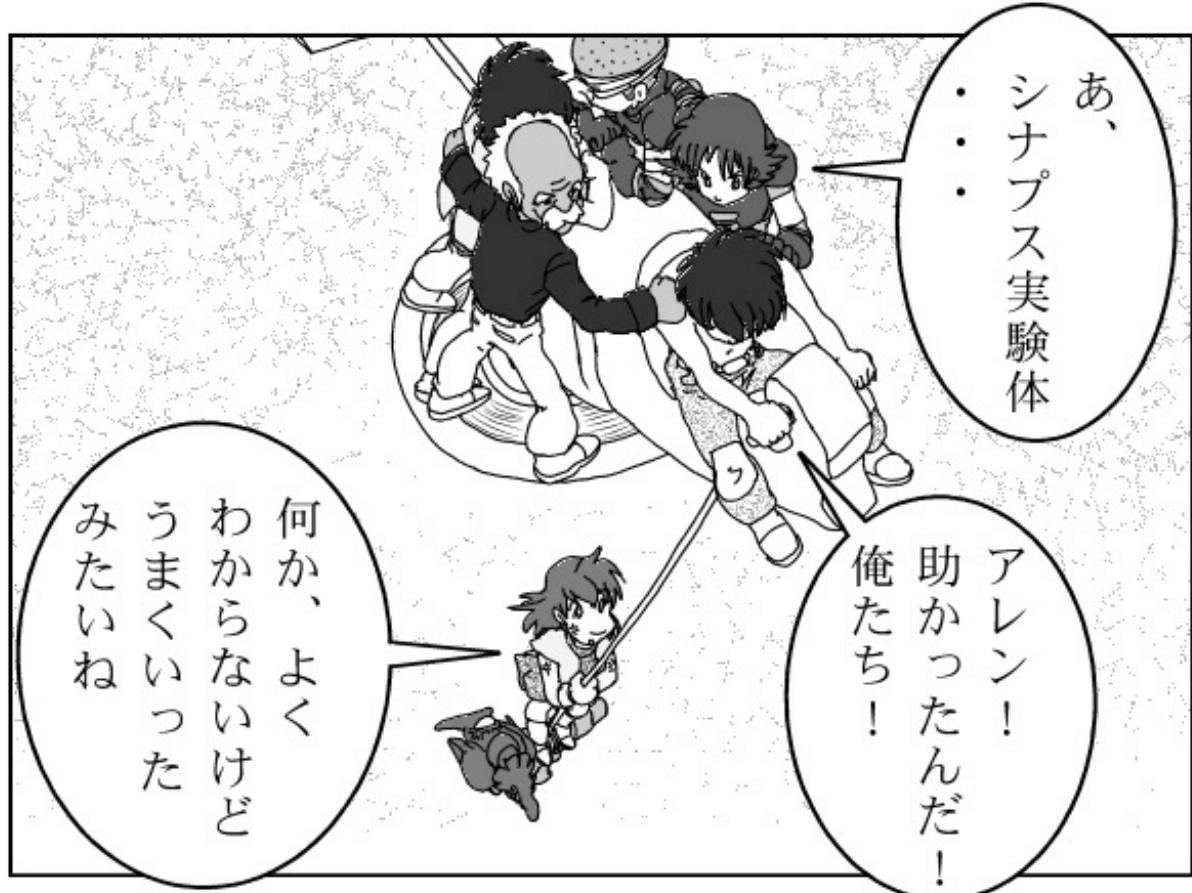


よろしく  
お願いします

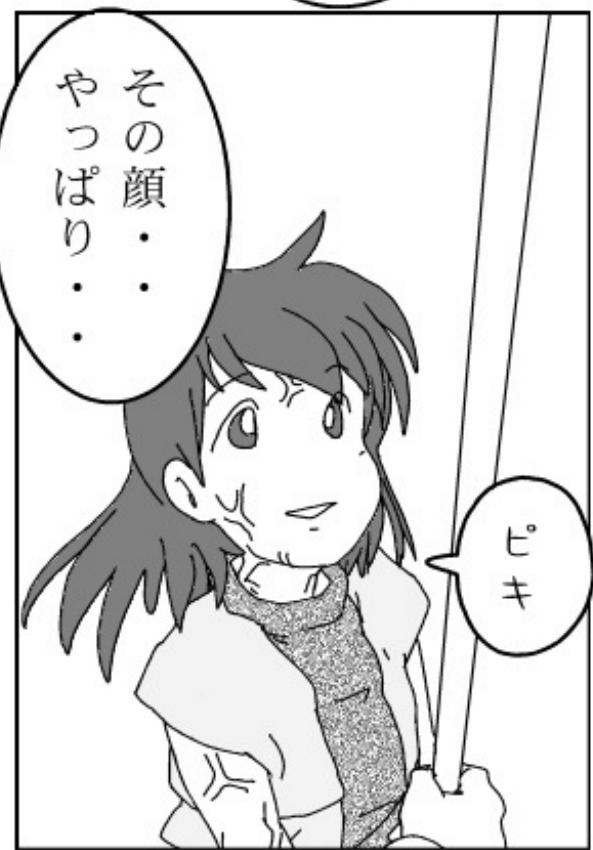
ユ  
ウ  
ウ  
・

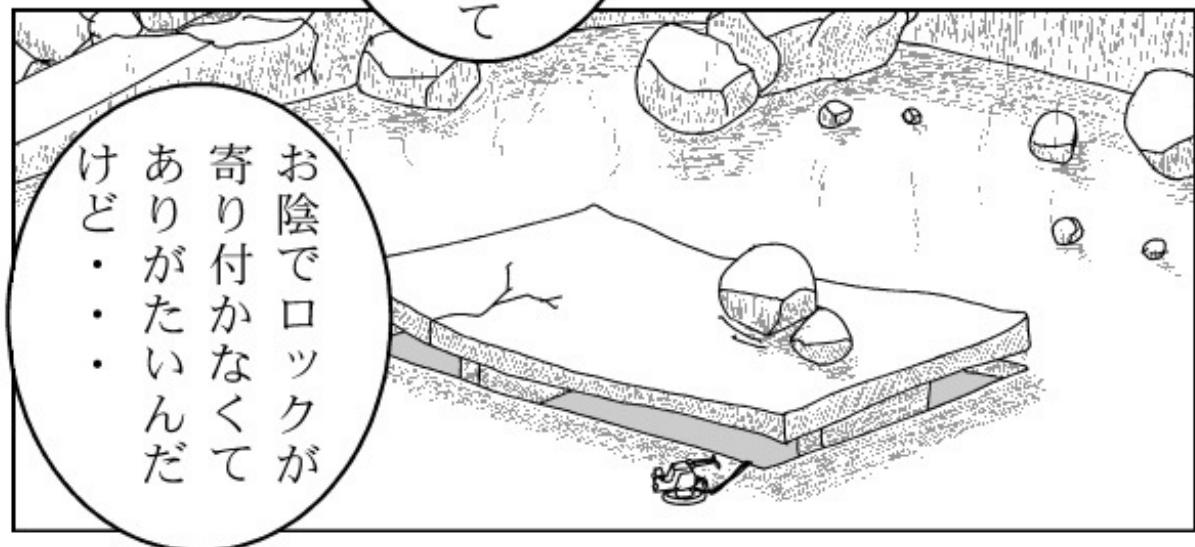
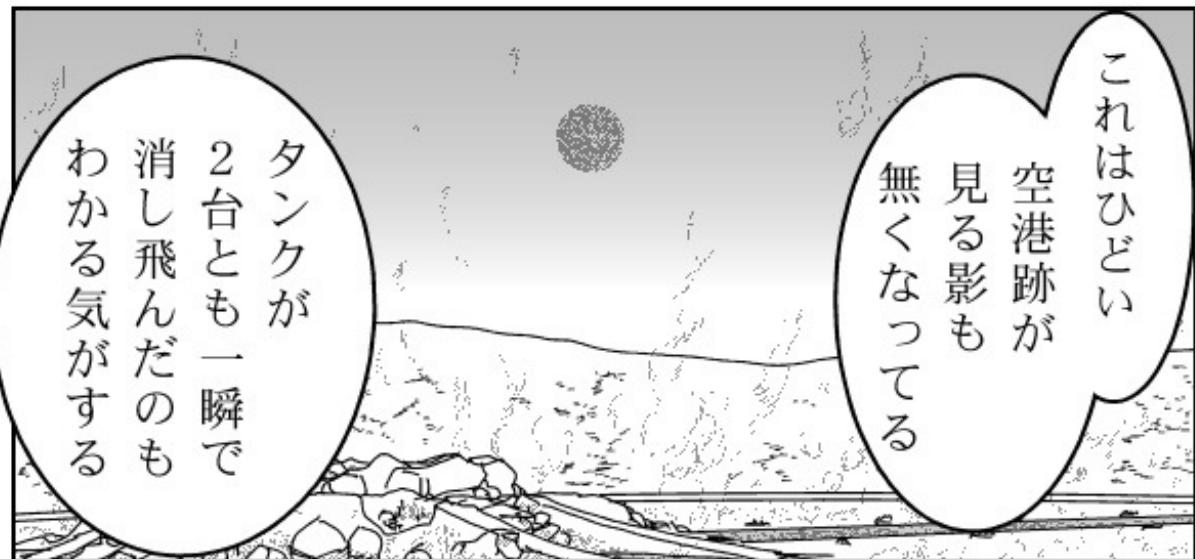


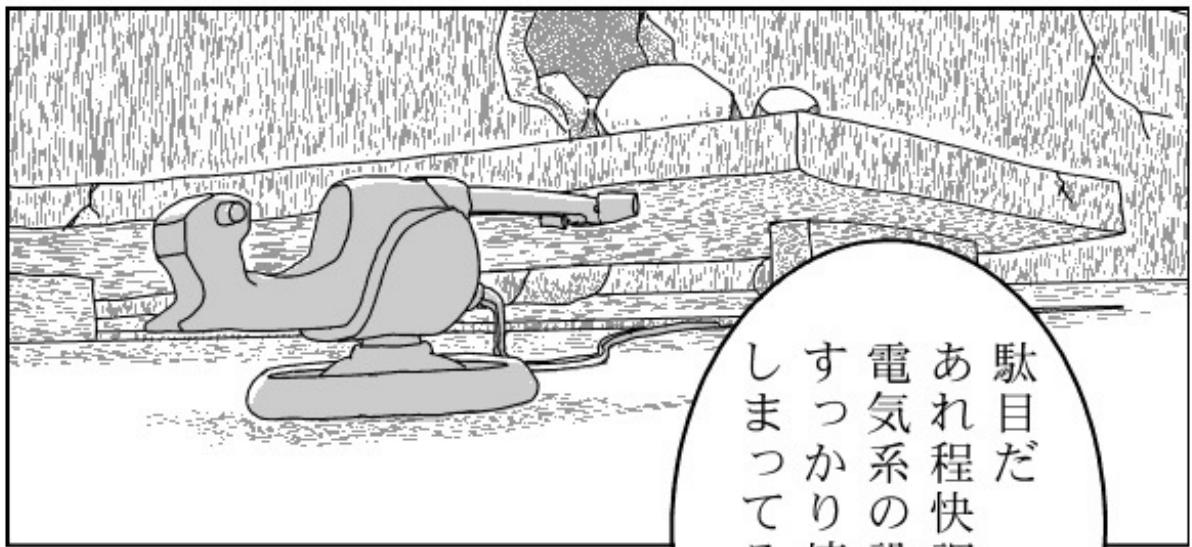




何か、よく  
わからぬけど  
うまくいった  
みたいね







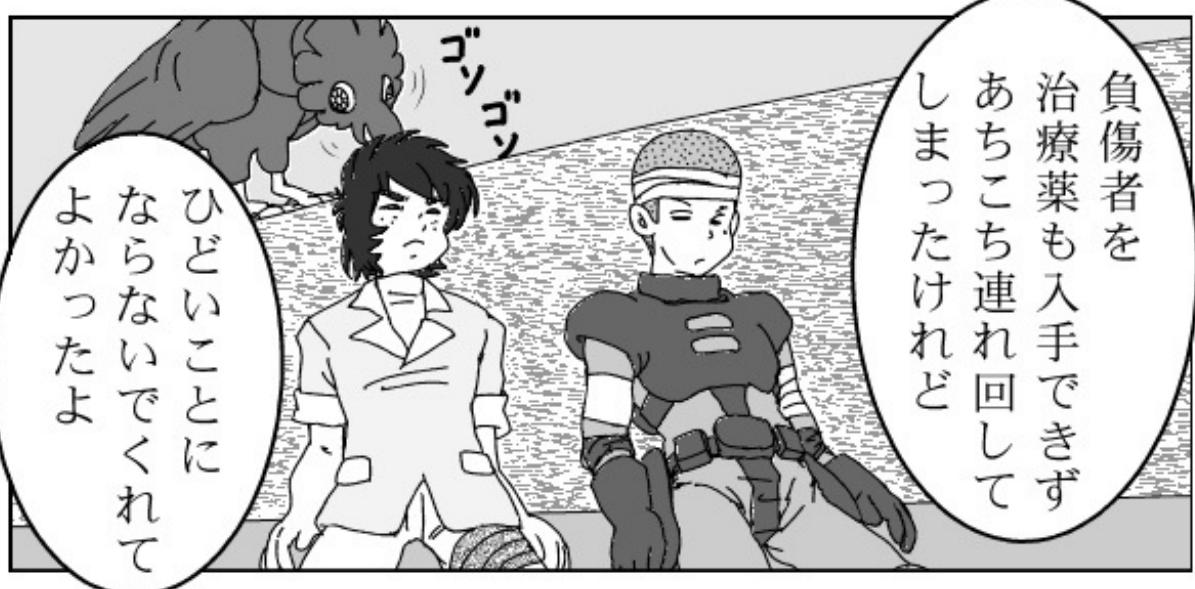
駄目だ  
あれ程快調だつた  
電気系の設備が  
すっかり壊れて  
しまつてゐ

今ホバーに充電中の  
分でバッテリの蓄えは  
ゼロになつてしまふよ



衣料、食糧も  
兵士達の取り溢し分が  
少しだけ残つていた  
程度だつたわ







おしまい

# NAZCA ACT7

作者 SATOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2013年8月10日

本書の一部または全部を無断で  
複製することは禁止します。

## NAZCA ACT7

<http://p.booklog.jp/book/75345>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/75345>

ブログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/75345>

電子書籍プラットフォーム : ブログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブログ